

AQ-GNシリーズ調光制御一体型インバーター説明書

照明器具に内蔵する場合を想定して説明してあります。灯具の改造作業になりますので灯具メーカーからの保証が受けられなくなる事を御了承下さい。灯具の改造はユーザー様の責任に於いて実施される事をお願い致します。

設置と接続

1. 灯具を解体し、内蔵の安定器とグロースターターを全て外します。
2. 基板のVカット部（1ヶ所あります）を割り、インバーター本体とVRユニットに分割します。
3. インバーター本体を付属のスペーサーで灯具のシャーシに固定します。この時にシャーシに付いているビスの先端や突起などに基板の裏側が接触しショートする事がない場所を選んで下さい。又、インバーターに付いている部品は発熱しますので器具のプラスチックカバーとの隙間が3cm以上ある場所を選んで下さい。一般のプラスチックカバーは難燃材が使われておりませんのでご注意ください。
4. 分割したVRユニットは灯具の外部から操作できる場所に穴あけ加工をし、付属のネジで固定します。
5. 灯具の蛍光灯ソケットとインバーター基板を下図の例の様に接続して下さい。線材の剥き代は6mmです。
6. 灯具の電源コードとインバーター基板を下図の例の様に接続して下さい。電源スイッチが必要な場合には、この電源（100V）のラインに挿入して下さい。蛍光灯の配線に電源スイッチを設けるとインバーターの故障原因となります。線材の剥き代は6mmです。
7. 使用する線材は器具解体時の余り線で構いませんが不足した場合にはホームセンターなどで市販されている電源用の平行線材を1本づつ裂いてご使用願います。電線の太さは0.5sqないし0.75sqを推奨します。
8. VRユニットとインバーター本体を付属の3Pケーブルで極性に注意しながら接続します。
9. 配線のチェックをしてから試験点灯を行って下さい。
10. カバーなどを取り付けて解体前の状態に復元して下さい。
11. 1つの灯具に複数のインバーター基板を内蔵し3灯以上の蛍光灯を駆動したい場合は、2枚目以降のインバーター基板にAQ-Fシリーズを選定して下さい。

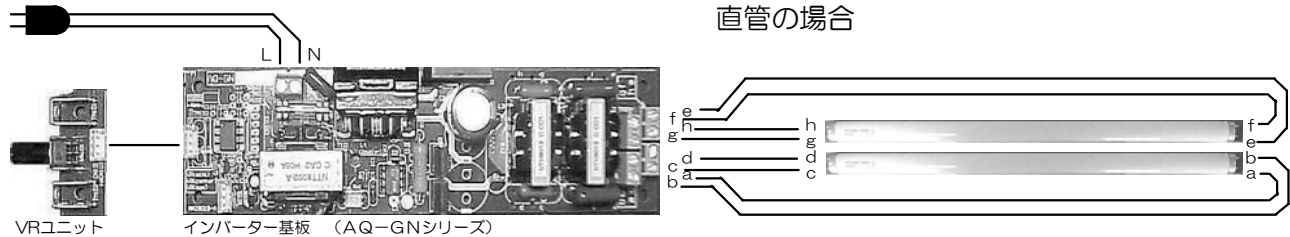
使用上の注意

- A. インバーター基板を取り付ける灯具内部の温度はランプから受ける熱により30度から40度上昇し、気温が40度の時には内部は70～80度に達します。インバーター回路に使っている電子部品はさらに20度以上上昇する部品があり、これが樹脂カバーに近づくこと大変危険です。プラスチックカバーは難燃性の樹脂でない事が多いので長期間熱が加えられまると炭化し発火、火災の危険がございます。基板の取り付け位置には十分な注意をはらって下さい。
- B. インバーター基板には電源の100Vが直接かかっております。通電中に人体に触れると感電の危険があります。水に濡れた状態で使用を続けるとショートの原因になります。
- C. 国内専用100Vモデルです。海外では電圧が違いますのでご使用できません。尚50Hz 60Hzの区別はありません。

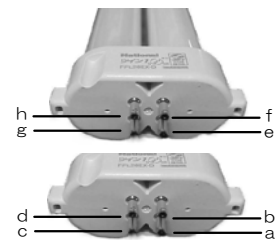
応用アプリケーション

- A. VR接続ポートCN102に制御信号 直流0V～5Vを印加する事で、外部から調光制御を行う事ができます。
- I. 調光制御を司るPICマイコンに書き込まれたフラッシュROMのプログラムを書き替える事で、より複雑な調光制御を行う事が可能です。書き替えはCN103からオンボードで実行できます。

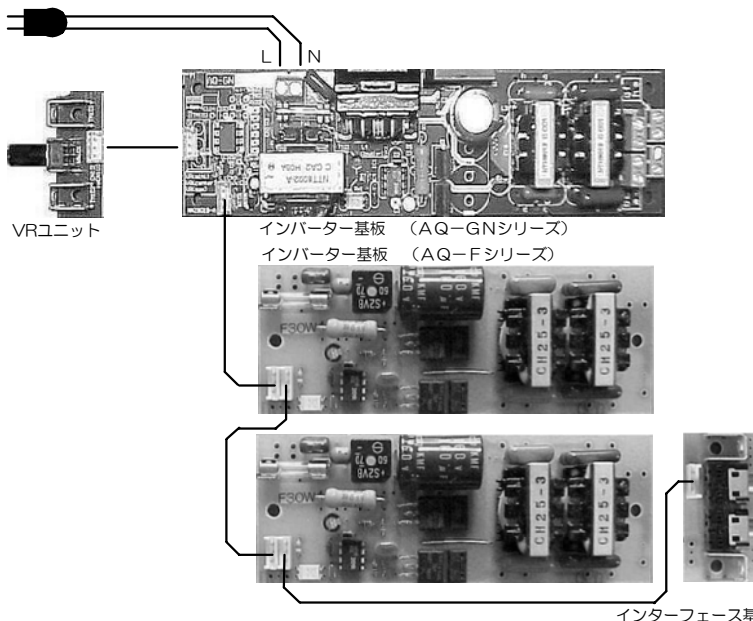
蛍光灯への結線



ツイン管の接続例



連動調光したい場合（灯具内の結線）



連動調光したい場合（灯具間の結線）

